

帆卷き唄

どつどつー どーどつりやー 若いしー 頼みじやー イエー

ヨーホーラエー 一で始まりや ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 始まる 一の宮 ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 二では日光の ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 日光の 東照宮じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 三には讃岐の ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 讃岐の 金毘羅様じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 四では信濃の ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 信濃の 善光寺 ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 五つにや出雲の ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 出雲の大社 ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 六つにや室積 ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 室積 お普賢様じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 七つは奈良の ヤーハーエー

アーヤツトコセー ヨーイヤナー

エーエー 奈良の 大仏様じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 八つは八幡の ヤーハーエー

アーヤットコセー ヨーイヤナー

エーエー 八幡の 八幡様じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 九つ高野の ヤーハーエー

アーヤットコセー ヨーイヤナー

エーエー 高野の 弘法大師 ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

ヨーホーラエー 十には所の ヤーハーエー

アーヤットコセー ヨーイヤナー

エーエー 所の 氏神様じゃ ヨーホーエーコーラー

ソリヤナンデモ ハリヤードツコイ ヨーエトコ ヨーエトーコセー

芋の蔓

目出度きものは ものは 芋の蔓

葉には千夜せんよの 千夜せんよの 露を受け

根には 千余の 千余の 子を連れて

万の蔵よりや 蔵よりや 子は宝

鶴亀

今日のこの席 この席 目出度い座席

奥の座敷を 座敷を 眺むれば

亀が囃せば 囃せば 鶴が舞う

七福神も 神も ご見物

鶴と亀とが 鶴亀 何というて遊ぶ

この家や繁盛と 繁盛と 舞を納む

これほど目出度い 目出度い ものではない

宝船

正月二日の二日の初夢に

目出度き夢を夢を授けられ

如月山の山の楠木くすのきを

おん木きめん木きにより分け船造る

柱は金銀 金銀 つげ柱

錨は不動の 不動の 金縛り

帆には法華経の 法華経の 八の巻き

身縄や手縄が 手縄が 琴の糸

す板は住吉 住吉 弁財天べだいてん

艫とぎに回りて 回りて 眺むれば

艫の欄干 欄干 松を植え

松風嵐を 嵐を 帆に受けて

宝の島へと 島へと 走り込む

目出度きものは ものは 風呂屋の亭主

かんが熱けりや 梅 ぬるけりや 竹ばよい

松竹梅にも ばいにも たとえたものよ

入り来るお客を お客を 松尾丸

まだもや目出度き ものは 二又よの木

よの実はならず^{かね}に ならず^{かね}に 金^{かね}がなる

目出度きものは ものは 破れた蚊帳じや

つるかと思えば 思えば 亀が出た

十七、八の 八の 小娘が

竹の子かかえて かかえて 泣いている

何が悲しゅうて 悲しゅうて お泣きやる

何も悲しゅうは 悲しゅうは ないけれど

孟宗破竹は 破竹は みな生えた

真竹が生えんで まだけが生えんで 泣いている

破れふんどしや 将棋の駒よ 角と思えば金が出る

松王丸（南町）

目出度きものは 風呂屋の亭主

風呂屋の亭主は 松竹梅よ

お客多けりや 松王丸よ

爛がぬるけりや 竹王丸よ

爛が熱けりや 梅王丸よ